

と GIS 化，地質解説書の電子版を作成した。なお，電子版報告書については，当所の Web サイトからダウンロードできるようにする予定である。

8. 2 産業廃棄物最終処分場の位置および概要に関するデータベースの作成

(担当)：高橋 良・遠藤祐司・丸谷 薫

産業廃棄物最終処分場の設置届け等の資料は全道 14 支庁に分散しており，一括整理された資料はない。そこで，産業廃棄物最終処分場とその周辺環境の環境保全を図る観点から，最終処分場の位置および概要を一括整理することを目的とし，資料収集を行っている。

平成 19 年度は，留萌，宗谷および上川支庁を対象に資料収集および整理を行った。資料収集後，収集した資料を基に，産業廃棄物最終処分場の位置および概要に関するデータベースを作成した。

8. 3 温泉保護対策調査

(担当)：柴田智郎・高橋徹哉

平成 19 年度は，道・医務薬務課からの要請により，札幌市内平野部および十勝地域において，温泉保護対策に係る調査および技術指導を行った。

札幌市内平野部においては水位，温度，湧出量の観測データの回収と解析を行った。十勝地域（帯広市，音更町，幕別町）における泉源調査（水位，泉温，湧出量の測定等）では，温泉付随可燃性ガス対応のため，ガス検知器等によるガス調査を行うとともに，ガス調査に関する技術指導も併せて行った。

8. 4 農地地すべり対策調査

(担当)：田近 淳・石丸 聡・川上源太郎

本調査は地すべり等防止法に基づく地すべり防止区域（農水省農村振興局所管）の指定や管理にあたって専門的立場から助言を行うことを目的としている。平成 19 年度は，美幌町などについて，地形地質条件や地すべり機構について検討した。また，下川町・平取町の防止区域 2 箇所の概成判定に関する検討を行った。

8. 5 休廃止鉱山鉱害防止対策調査

鉱山が操業を停止した後も，坑道やズリ堆積場から有害金属を含む坑廃水の流出・浸出が続き，鉱山周辺及びその下流域の環境に大きな悪影響を与える場合がある。北海道内には，このような閉山後も坑廃水の処理が続けられている休廃止鉱山が 12 箇所あるほか，対策が必要とされている休廃止鉱山も数箇所残されている。

当所は，北海道産業保安監督部，独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構ならびに北海道経済部資源エネルギー課と連携し，幌別硫黄鉱山，精進川鉱山及び本庫鉱山などの休廃止鉱山を対象として，坑廃水による鉱害防止を目的とする調査研究を行っている。さらに，鉱害対策事業の計画・実施について関係機関との協議に参加し，専門的見地からの技術的助言を行っている。

8. 5. 1 幌別硫黄鉱山

(担当)：遠藤祐司・荻野 激・高橋 良

胆振支庁管内壮瞥町の旧幌別硫黄鉱山では，閉山から 30 年近く経過した現在においても，酸性坑内水の流出が続き，その処理に毎年多額の費用がかけられている。当所では，酸性坑内水の流量低減と水質向上，並びに効率的な水処理の方法を探るため，坑道周辺における地下水位の観測及び表流水や湧水・坑内水の水質調査を継続している。